

報道機関各位

令和6年2月15日(木) 16時15分配信

タイトル	令和6年度地域政策推進事業（振興局独自事業）について																																						
内容 (目的・趣旨)	<p>道では、地域課題の解決や個性と活力ある地域づくりを推進するため、振興局が地域と連携・協働のもと、政策形成段階から事業展開まで一貫して、地域に根差した政策を推進する「地域政策推進事業（独自事業）」を実施しています。</p> <p>後志総合振興局では令和6年度に次のとおり事業の実施を予定しておりますので、お知らせします。</p> <p><令和6年度事業一覧></p> <table border="1" data-bbox="443 741 1374 1429"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業名</th> <th>予算額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ShiriBeshi グローカルインターンシップ事業</td> <td>4,065</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>後志管内公共交通活性化事業</td> <td>2,123</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ニセコ山系ロングトレイル普及事業</td> <td>2,654</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ShiriBeshi ゼロカーボン推進事業</td> <td>1,725</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ShiriBeshi 持続可能な観光地づくり推進事業</td> <td>4,422</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>後志地域人材確保・人材誘致推進事業</td> <td>2,732</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>しりべし産ワインを核とした地域ブランド力向上プロジェクト</td> <td>4,900</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>しりべしゼロカーボン農業展開事業</td> <td>777</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>後志版「ほっかいどう企業の森林づくり」推進事業</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>コウナゴ漁期前調査事業</td> <td>408</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>23,958</td> </tr> </tbody> </table> <p>※詳細は別紙資料のとおり ※別紙資料は、北海道後志総合振興局のホームページでも公表しています。 https://www.shiribeshi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/pressrelease.html</p>				事業名	予算額（千円）	1	ShiriBeshi グローカルインターンシップ事業	4,065	2	後志管内公共交通活性化事業	2,123	3	ニセコ山系ロングトレイル普及事業	2,654	4	ShiriBeshi ゼロカーボン推進事業	1,725	5	ShiriBeshi 持続可能な観光地づくり推進事業	4,422	6	後志地域人材確保・人材誘致推進事業	2,732	7	しりべし産ワインを核とした地域ブランド力向上プロジェクト	4,900	8	しりべしゼロカーボン農業展開事業	777	9	後志版「ほっかいどう企業の森林づくり」推進事業	152	10	コウナゴ漁期前調査事業	408	合計		23,958
	事業名	予算額（千円）																																					
1	ShiriBeshi グローカルインターンシップ事業	4,065																																					
2	後志管内公共交通活性化事業	2,123																																					
3	ニセコ山系ロングトレイル普及事業	2,654																																					
4	ShiriBeshi ゼロカーボン推進事業	1,725																																					
5	ShiriBeshi 持続可能な観光地づくり推進事業	4,422																																					
6	後志地域人材確保・人材誘致推進事業	2,732																																					
7	しりべし産ワインを核とした地域ブランド力向上プロジェクト	4,900																																					
8	しりべしゼロカーボン農業展開事業	777																																					
9	後志版「ほっかいどう企業の森林づくり」推進事業	152																																					
10	コウナゴ漁期前調査事業	408																																					
合計		23,958																																					
参考																																							
報道解禁	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<table border="1"> <tr> <td>テレビ・ラジオ・インターネット</td> <td>月 日 ()</td> </tr> <tr> <td>新聞</td> <td>月 日 ()</td> </tr> </table>	テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ()	新聞	月 日 ()																																	
テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ()																																						
新聞	月 日 ()																																						
報道(取材)に当たってのお願い																																							
道政記者クラブとの同時発表	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり																																						
所管課・係	後志総合振興局地域創生部地域政策課 課長 菊池 博幸 TEL 0136-23-1341 FAX 0136-22-0948																																						

① ShiriBeshiグローバルインターンシップ推進事業



事業期間 R5~R7 事業費 [4,065千円]

事業概要

国際的リゾートが複数展開し、外国人観光客が数多く訪れる「インバウンド先進地」であり、また、国際性・多様性豊かである後志の地域特性を活かし、この地域でのインターンシップと多文化共生の場を通じたグローバルな人材の育成に取り組むことで、意欲的な若者を管内に呼び込み、更なる関係人口の増大を目指す。

主な取組

インターンシッププログラムの運営

外資系リゾート関連企業を中心とした管内の各種企業でのインターンシッププログラムを、全国の大学生等を対象に実施する。

参加者を対象とした各種研修の実施

国際感覚の養成や多文化共生意識の醸成を図り、インターンシップでの経験をより有意義なものにするため、参加者を対象に各種研修を実施する。

「多文化共生の場」の運営

上記研修のほか、参加者が主体的に多文化共生に関して学ぶことができるよう、外国人向け日本語サロンや地元高校との交流会など、地域住民との交流の場を設ける。



令和5年度ShiriBeshiグローバルインターンシップサマープログラム事前研修での参加者集合写真

② 後志管内公共交通活性化事業

事業期間 R6～R8

事業費 [2, 123千円]

事業概要

後志管内の地域公共交通の主軸を担うバスの運転手等の確保に向け、道内外の就職相談会でPR活動を実施するとともに、北海道新幹線札幌延伸を見据え、管内の団体と連携しながら後志の魅力を発信することにより、気運の醸成を図る。

主な取組

道内外の就職相談会などへの参加

バス運転手を対象とした道内外での就職フェアや定住・移住フェアに参加してPR活動を実施するなど、運転手確保を図る。

北海道新幹線の札幌延伸に向けた気運醸成

東北地方などで開催されるイベント等に参加し、後志の食や観光等の魅力を発信するなど、啓発活動を展開する。



バス運転手就職説明会資料 (R5)



北海道新幹線利用促進PR(R5)

③ニセコ山系ロングトレイル普及促進事業

事業期間 R4~R6 事業費 [2, 654千円]

事業概要

多様な生物環境や希少な自然地形が分布するニセコ積丹小樽海岸国定公園内のニセコ山系において、近年注目されているアクティビティであるロングトレイルのコースを設定することで、国定公園の利用者増加と適正な管理を図るとともに、アドベンチャーツーリズムに適したコンテンツであることを活かし、夏季の後志観光を推進する。

主な取組

ロングトレイルコースの維持管理

トレイルコースへの看板の設置や草の刈払など関係者と協力した現状確認や維持管理作業を実施するとともに、これらを記録しPRにも活用していく。

トレイルのPR

SNSを活用してトレイルを周知するほか、PR資材を作成・配布し、本事業の魅力発信や認知度向上を図る。

フォーラムの開催

ロングトレイルの有識者等をパネリストに招き、フォーラムを開催するとともに、希望者を対象に体験ツアーも実施する。



トレイル維持管理作業の様子

④ ShiriBeshiゼロカーボン推進事業

事業期間 R5~R7 事業費 [1, 725千円]

事業概要

ゼロカーボン北海道推進計画に基づく2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、道民の意識醸成のための各種啓発活動を行うとともに、後志地域の特性を活かし、企業活動とゼロカーボンの調和の代表的な例として、管内ワイナリーのカーボンニュートラル推進を図る。

主な取組

次世代を担う子供たちへの意識醸成

2050年に社会の中軸を担う世代に向け、ゼロカーボン北海道に関する出前講座を実施する。



出前講座の様子

「ゼロカーボン北海道」の普及・啓発

市町村等のイベントにおける啓発ブースの設置や街頭啓発、ゼロカーボンのシンボルとしての記念植樹を実施する。



ワイナリーにおけるカーボンニュートラル推進

国内外のワイナリーにおけるカーボンニュートラルの取組に関する調査を実施し、管内ワイナリーに情報提供を行うことで、その取組実施を促し、しりべしワインのさらなるブランド力向上に資する。



先進地視察（山梨県）

⑤ Shiribeshi持続可能な観光地づくり推進事業



事業期間 R5~R7 事業費 [4, 422千円]

事業概要

国際リゾートエリアである後志を持続可能な観光地としていくため、地域の「稼ぐ力」を引き出すDMOと連携し、環境負荷が低く、地域経済には高いイパクトを与え、ゼロカーボンにも資する旅行形態であるアドベンチャータバール（AT）の推進等に取り組む。

主な取組

国内客の呼び込みの拡大

教育関係者や旅行会社向けの教育旅行誘致に向けた商談会に参加する。

ガストロミーツーリズム等による滞在型・通年型観光の推進

雑誌への記事掲載や観光物産展出展を通して、後志の食を活かしたガストロノミーツーリズムを推進する。

受入体制の整備

観光客の受入体制強化に向けたセミナーを開催する。

アドベンチャータバール等の新たな観光資源の発掘・磨上・発信

AT商品を造成する旅行会社等を講師に迎え、ATになり得るコンテンツを提供する事業者等に対して相談会を開催し、AT商品の造成に繋げる。

※ その他、DMO連携会議なども実施予定。



北海道教育旅行説明会・相談会



ATコンテンツ発掘相談会

⑥ 後志地域人材確保・人材誘致推進事業



事業期間 R6～R8 事業費 [2,732千円]

事業概要

市町村や各団体等と連携し、外国人の通年雇用化、首都圏の人材の呼び込み、若年者への地元就職支援等に取り組み、地域の持続的な発展を目指す。

主な取組

マッチング事業

商工会議所・商工会やハローワークと連携しながら、求職者へ仕事や住まいの紹介をワンストップで行うとともに、外国人の求職者へ英語により相談対応を行う。

しりべしジョブフェアの開催

人手不足の地元企業に対し、対面での人材紹介を行う「しりべしジョブフェア」を開催する。

管内若年者向け合同企業説明会の開催

管内の若年者を対象とした合同企業説明会を開催する。



マッチングチラシ（英語版）



若年者向け合同企業説明会

⑦ しりべし産ワインを核としたブランド力向上プロジェクト

ShiriBeshi

事業期間 R4～R6 事業費 [4,900千円]

事業概要

しりべし産ワインを核として、官民が連携し、食や観光分野との結び付けを図るとともに、生産者への技術支援や地元の販路拡大、道内外へのプロモーションなどの取組を行うことにより、地域全体が共通意識を持って、ワインや食のブランド力向上を目指す。

主な取組

情報収集・基盤整備

地元高校生向けにワイナリー等での就業体験を実施する。

技術支援

管内のワイン生産者向けに、ワイン生産技術向上に向けた現地視察、セミナーを開催する。

販路拡大・プロモーション

管内のワイン関連情報をサイト「しりべしワイン」や冊子等で情報発信を実施する

※ その他、物産展「しりべしフェア」や商談会の開催なども実施予定。



高校生向け就業体験



しりべし商談会

⑧ しりべしゼロカーボン農業展開事業



事業期間 R5~R7 事業費 [777千円]

事業概要

農業分野におけるカーボンニュートラルの実現と農業経営の持続的な発展を目指し、化学肥料・農薬の低減に向けた技術実証と、クリーン農業を始めとした地域資源の有効活用・人材育成に取り組む。

主な取組

農業生産技術の普及（技術実証）

地域の農業者・農業協同組合等と連携し、化学肥料・農薬の使用量低減が期待できる栽培技術の実証を行う。



実証ほ場の設置

人材育成（販売活動レベルアップ講座【第2期】）

農業者が農畜産物のマーケティングや販売戦略を段階的に学ぶことのできる複数回の講座を開催する。

今後の開催予定：11月中旬 開校式【第2期】
12月中旬 マーケティングを学ぶ
1月中旬 商品の適正価格について



販売活動レベルアップ講座での先進地視察

⑨ 後志版「ほっかいどう企業の森林づくり」推進事業事業 *shiriBeshi*

事業期間 R5～R7 事業費 [152千円]

事業概要

後志管内におけるリゾート関係会社等に対し、森林整備を通じたCSR活動として「ほっかいどう企業の森林づくり」に参画を働きかけるとともに、リゾート関係会社等へ積極的な地域材の利用を促進をし、後志管内における森林吸収源対策を推進する。

主な取組

活動フィールド及びリゾート関係会社等の調査及び情報発信

森林づくりを希望する企業と活動フィールド（整備する森林）を提供する森林所有者の意向などを調査し、活動フィールドを選定するとともに、ゼロカーボンに関するイベントや、SNSなど、あらゆる機会を通じて森づくりや地域材の利用による森林吸収源対策などを積極的に発信する。

リゾート関係会社等への働きかけ

リゾート関係会社等に対し、「ほっかいどう企業の森づくり」事業の概要を盛り込んだパンフレット、また、「ようていカラマツ」の特徴や地域材の利用した施設の施工事例等を紹介したパンフレットについて、海外資本向けの英語版を併せて作成・配布し、森林づくりや地域材の利用促進について積極的な働きかけを実施する。

後志管内における「ほっかいどう企業の森づくり」及び地域材の取組事例

【ほっかいどう企業の森づくり】

- 日本たばこ産業株式会社 「JTの森積丹」： 積丹町
- 生活協同組合コープさっぽろ 「コープ未来（あした）の森」：喜茂別町、赤井川村、京極町

【地域材利用施設】

- リゾート施設：楽 山水（倶知安町）、ニセコ蒸留所（ニセコ町）ほか
- 公共施設：るすつ子どもセンターぽっけ（留寿都村）、総合体育館（寿都町、黒松内町）ほか



JTの森積丹 R5R27



ニセコ蒸留所

⑩ コウナゴ漁期前調査事業

事業期間 R6~R8 事業費 [408千円]

事業概要

コウナゴ漁期前調査を実施して、最適な漁獲サイズに成長する時期（初漁日）を予測し、商品価値の低い小型魚の漁獲を回避するなど、資源の保護及び操業の効率化を図るとともに燃料消費の削減により、温室効果ガスの排出量削減を図る。

主な取組

コウナゴ漁期前調査

- ・島牧及び寿都沖合海域にて調査点を設定するとともに、各海域にて、それぞれ漁船1隻を用船し、4月上旬・中旬（各1日）にコウナゴを採取する。（2海域×各2回＝計4回調査）
- ・採取地点の緯度経度・水深・水温を記録する。
- ・水産試験場にて体長測定、測定結果を取りまとめの上、コウナゴ資源の体長組成を推定し、適切な漁獲サイズに成長する時期（初漁日）を予測する。

調査報告会

- ・水産試験場の協力のもと、関係漁業者や漁協、水産加工業者を参集し、調査結果（初漁日等）を周知する。
- ・商品価値の低い小型魚の漁獲を回避するなど、今後の自主的な資源管理等について意見交換を実施する。